

(別記様式第 15 号)

令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

王滝村

No.	事業項目	事業名
	森林を支える豊かな地域づくりに関する事業	令和 2 年度 緩衝帯整備事業
事業費 1,089,000円		(うち支援金: 592,000円)

事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

当該地域は山林と御岳湖に挟まれた村道 1 号線沿いであり広域的な森林施業は困難であり小規模ではあるが景観整備や有害獣の対策が必要な林地である。

(2) 本事業の目的

加害鳥獣が出没しにくい環境をつくることで農林業被害の軽減を図り、村内緩衝帯整備 5 ヶ年計画に基づき今年度は田島地区において 1.43ha、小川地区において 1.29ha を整備する。

事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所

王滝村田島地区、小川地区

(2) 対象者

田島地区、小川地区住民

(3) 実施方法

刈払機等を用いて人力により、笹や支障となる低木の除去を行う

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (平成 30~34 年度)

緩衝帯整備 20ha

②令和 2 年度計画

緩衝帯整備 2.72ha

■田島地区 < 施行前 >



< 施行前 >



< 施行前 >



< 施工後 >



< 施工後 >



< 施工後 >



■小川地区 < 施行前 >



< 施行前 >



< 施工後 >



< 施工後 >



事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 事業実施による効果

加害鳥獣が出没しにくい環境をつくることで被害の軽減と森林整備に対する森林所有者の意識向上に繋がる。

(2) 継続性

定期的な維持管理を行う予定であり、効果の継続性は見込まれる。

(3) 普及性

田島地区、小川地区住民をはじめ観光客に対して被害対策となる緩衝帯整備の必要性を周知できると考えられる。

事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

(1) 目標に対する成果の状況

里山整備を行った結果、農地周辺の有害獣出没が減少した。

隣接する村道1号線は村内外の車両も多く、見通しも良くなり環境整備の観点からも評価されているとみられる。

また、整備地付近には学校通学路もあり、その安全性も確保された。

(2) 課題

今後さらに森林所有者の高齢化が進み手入れが行きとどかない森林が増加する傾向にあることから里山整備と合わせ面的な整備が必要となる。

(3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

今後も事業を継続し森林所有者や農業経営者に里山整備と併せて広くアピールし有害獣による被害軽減や出没しにくい環境づくりを進めていきたい。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)